

<これが現実!!國學院久我山に突きつけられた football の現在地...>

10月16日(日)、久しぶりの秋晴れのもと、選手権二次トーナメント3回戦^四國學院久我山が堀越グラウンドで行われました。さすがに相手チームが現在 Tリーグトップを走る久我山とあって、先週よりも観客が多く注目度の高さを感じました。素晴らしいグラウンドで多くの観客の見守り中、今シーズンの Tリーグトップの久我山高校と選手権という最高の舞台上で真剣勝負ができることは、高校サッカー少年冥利に尽きます。ここまで積み上げてきたことを信じて真っ向勝負で久我山高校に挑みました!!

ベスト8を懸けたゲームは久我山のキックオフで始まりました。立ち上がりからこのチームでは今まで感じたことのない巧さ、速さ、強さを相手から感じました。ボールを支配され守備の時間帯も長く、攻撃の形が作れずにボールを追いかける経験は今年度ありませんでした。前半20分までは相手の攻撃を2失点で抑えましたが、そこからは力の差を見せつけられ点差を広げられます。片倉もどうにか一矢を報いようとお互い鼓舞し最後まで諦めずに闘い続けましたが、久我山の牙城を崩せずに完封負け。2022選手権のチャレンジはベスト16という結果で終わりましたが、片倉高校サッカー部にとって新たな扉が開かれました。今回の結果を真摯に受け止めるとともにこの貴重な体験を“k's football style”の進化に繋げて、一年後にこの差をどこまで縮めることができるのか?選手権に出場できたからこそ突きつけられたこの現実。前向きに捉え進んでいきたいと思えます。

当日はたくさんの応援ありがとうございました。49期生残りのリーグ戦全勝するつもりでトレーニングを継続しています。引き続き宜しくお願いします。



